

令和2年度 夏季釧路地区中学校バレーボール大会 開催要項

※令和2年度 釧路地区中学校体育連盟体育大会バレーボール大会の代替大会として本大会を実施する

1. 主催 釧路バレーボール協会中学校委員会
2. 共催 釧路地区中学校体育連盟
3. 主管 釧路バレーボール協会中学校委員会, 釧路地区中学校体育連盟バレーボール専門委員会
4. 会期 令和2年8月1日(土), 8月2日(日)
5. 会場 湿原の風アリーナ釧路メインアリーナ(A・B・Cコート), サブアリーナ(Dコート)

6. 日程

8月1日(土)		8月2日(日)	
7:15	指導者集合	7:45	指導者集合
8:15	開場 ※女子生徒のみ入場	8:00	開場 ※生徒のみ入場
8:30	女子保護者入場, 女子練習開始	8:15	保護者入場, 練習開始
8:45	監督会議	8:30	監督会議
9:00	開会式	9:15	競技開始
9:40	女子競技開始		
	※女子競技終了後, 2日目の抽選		
13:30	男子生徒入場		
13:45	男子保護者入場		
14:30	男子競技開始		

7. 参加資格

- (1) 釧路地区中学校体育連盟に加盟する中学校・中等教育学校・義務教育学校に在籍する生徒で, 当該学校長が出場を認め, かつ保護者の承諾(参加承諾書)が得られている者に限る。
- (2) 年齢は平成17年4月2日以降に生まれた者に限る。
- (3) 前項以外の生徒が参加を希望する場合は, 事前に釧路地区中学校体育連盟バレーボール専門委員会に問い合わせること。
- (4) 参加生徒の引率者及び監督は, 当該学校の校長・教員・部活動指導員とする。マネージャーは当該学校の教員または生徒とする。
- (5) 監督・引率者は, 部活動の指導中の暴力等により, 任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていないものであること。外部指導者は校長から暴力等による指導措置がないこと。
- (6) 外部指導者(コーチ)は, 当該学校の校長が認めた者で釧路地区中学校体育連盟に登録された者とする。

※外部指導者(コーチ)の押さえと権限については, 北海道中学校体育連盟事務局より提示された下記の「令和2年度 北海道中学校体育大会における外部指導者(コーチ)の押さえと権限」のバレーボールの項目に従う。

ベンチ入りについて

要項, ルールにある通りベンチに入ることができる。又, 試合直前の公式練習での実技指導も可能である。

コーチ権限について

- ・監督に事故があった時など不在の時には, ゲームキャプテンの申し出により, その代行を行うことができる。
- ・監督会議への出席やゲーム中の異議申し立てはできない。
- ・他はルール通りの規定で実施する。

- (7) チームは単一学校の生徒で編成されたものであること。但し, 地区中体連会長が令和元年度に認めた合同チームはその限りではない。複数校合同チームの引率・監督は出場校の校長または教員があたるものとする。ただし, やむを得ない場合は代表監督・引率を認める。
- (8) 選手の参加制限について
 - ① 茶髪, 脱色など頭髪や装飾品(ピアス・マニキュア・ネックレスなど)を身につけている生徒は, 登録選手として認めない。
 - ② その他, 専門委員会で協議の上, 出場が望ましくないと判断された選手の出場は認めない。

8. 登録人数

- (1) チームは, 監督1名, コーチ1名, マネージャー1名, 選手12名, 合計15名以内とする。

9. 大会（競技）規則および競技方法

(1) 大会（競技）規則及び申し合わせ事項

※ルールは令和2年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則による。

- ① ネットの高さは男子2m30cm、女子2m15cmとし、大会使用球は検定4号球（男子：ミカサV400, W, 女子：モルテンV4M5000）とする。
- ② 試合間（第1試合については試合前）の練習は、最初の試合の場合は10分、そうでない場合は5分とする。
- ③ プロトコールは道中体連バレーボール専門部の方法に準じて行うが、一部大会独自の方法を用いる部分がある。
- ④ 公式練習には登録15名以外は参加できない。
- ⑤ 2名以内のクイックモップターの配置を認める。ただし、公式メンバーではないので、モッピングのみを行うこととする。
- ⑥ スパイク練習は自チームのベンチのある側のコートから行う。
- ⑦ 当該チーム以外のセット間の練習は認めない。
- ⑧ 連続して試合を行う場合は試合間を15分あけ、フルセットの場合は20分あける。
※連続して試合を行うチームとその相手チームが了承した場合はその限りではない。
- ⑨ 公式練習以外の時間は、ネットを使用した練習はしない。
- ⑩ 全試合、WTO（ウォータータイムアウト）を実施する。
- ⑪ 今大会では熱中症対策の一環として、団扇のベンチへの持ち込みを認める。

※使用に関しては資料2『熱中症対応としての団扇使用』について」を参照

(2) 競技方法

<男子>

① 出場チーム

(2チーム・7校)

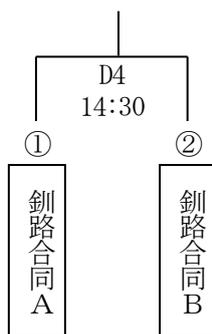
市 町 名	学 校 名
合 同 (2)	1 標茶・別保・遠矢・北・景雲中学校（釧路合同A）
	2 春採・鳥取西中学校（釧路合同B）

② 試合方法

ア. 2チームで試合を行う。

③ 組合せ

ア. 8月1日（土） Dコート



<女子>

① 出場予定チーム

(13チーム・19校)

市町名	学校名			
標茶町(1)	1 標茶中学校			
釧路市(6)	2 北中学校	3 鳥取中学校	4 共栄中学校	5 景雲中学校
	6 青陵中学校	7 大楽毛中学校		
合同(6)	8 遠矢・富原中学校	9 別保・弟子屈中学校	10 鶴居・鳥取西中学校	11 白糠中学校・庶路学園
	12 幣舞・美原中学校	13 春採・桜が丘中学校		

② 試合方法

ア. 1日目は、4チームによる1つのブロックと3チームによる3つのブロックにより、予選ブロック戦を行う。

イ. 2日目は、予選ブロック戦における順位に応じてブロック戦を行う。

③ 組合せ方法

ア. 1日目の予選ブロック戦においては、資料1『シード権獲得のためのポイント制について』に基づきシード校を決定する。

※シードポイントが同点の場合には、同点の学校による抽選により、シード順位を決定する。

イ. 第1シードを「イ」、第2シードを「ロ」、第3シードを「ハ」、第4シードを「ニ」の位置とする。

ウ. シード校以外は抽選により位置を決定する。

エ. 2日目のブロック戦においては、抽選により各ブロック内の位置を決定する。

④ 抽選方法

ア. 1日目の予選ブロック戦におけるシードポイントが同点の場合の同点の学校による抽選及びシード校以外の抽選は、ともに釧路バレーボール協会中学校委員会の競技部により代理抽選を行う。

イ. アの代理抽選は以下の手順で行う。

a. ①～⑨の予備抽選を行う。予備抽選の順は、上記「① 出場予定校」の記載順とする。

b. 予備抽選で決定した順に従い本抽選を行う。

ウ. 2日目のブロック戦における各ブロックの抽選は、1日目の競技終了後、湿原の風アリーナ釧路にて、各校の顧問により行う。

エ. ウの抽選は以下の手順で行う。

a. 各ブロック①～④ (⑤) の予備抽選を行う。予備抽選の順は、下記予選ブロック戦の番号の順に行う。

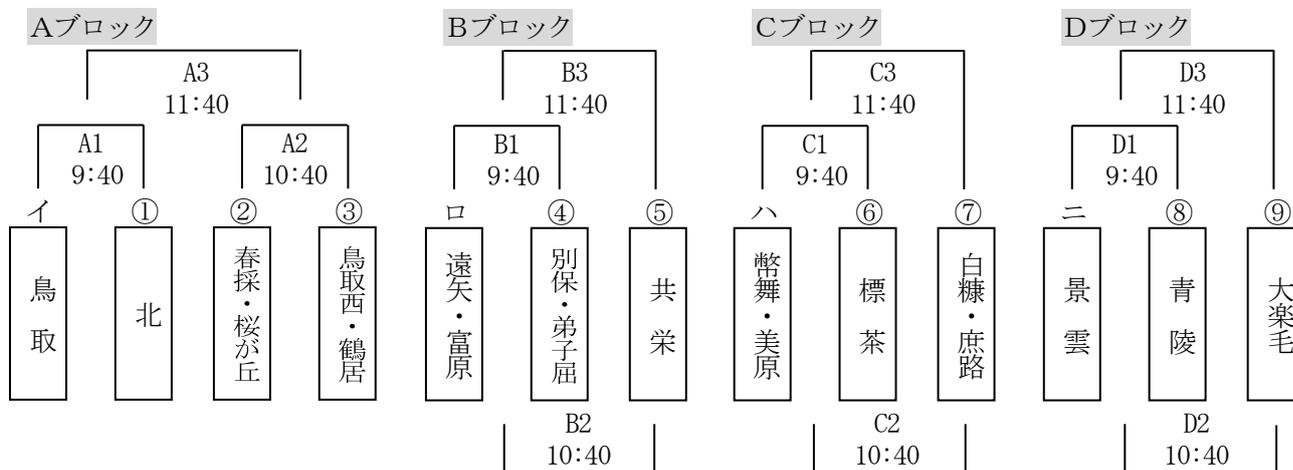
b. 予備抽選で決定した順に従い本抽選を行う。

⑤ 組合せ

ア. 1日目：予選ブロック戦 8月1日(土)

※1 A1, A2の勝者はA3で試合を行う。

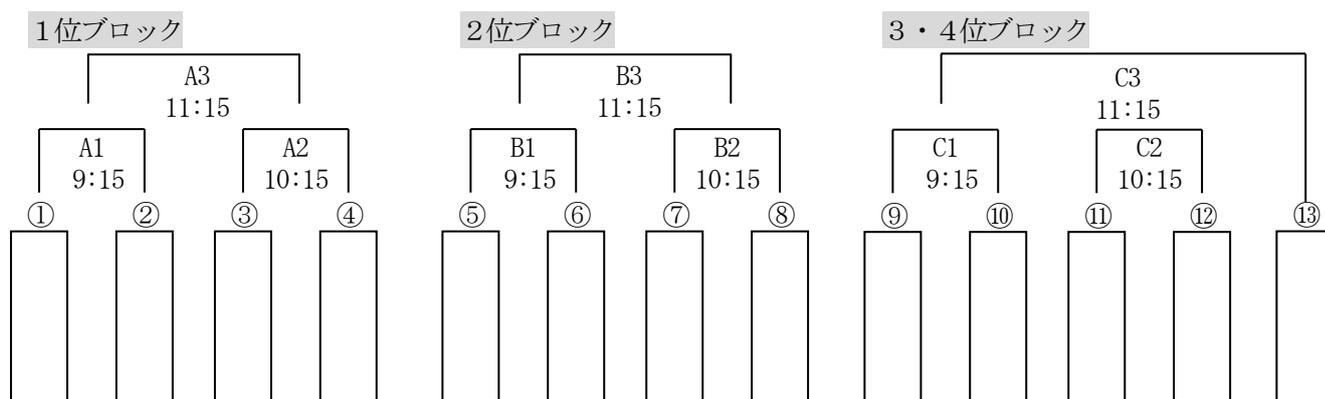
※2 B1の敗者B2, 勝者はB3で試合を行う。C1, D1も同様とする。



イ. 2日目：ブロック戦 8月2日（日）

※1 A1, A2の勝者はA3で試合を行う。B1, B2も同様とする。

※2 C1の勝者はC3で試合を行う。



10. 表彰

(1) 行わない。

11. その他

(1) 感染防止対策について

①生徒に関して

- ア. 参加生徒に参加承諾書を提出させる。
- イ. 大会2週間前から当日朝までの健康観察・確認を行う。
 - ※健康観察シートの活用。(各チームで対応)
 - ※当日の朝, 検温し忘れた生徒の検温。(各チームで対応)。
 - ※各チームは大会参加選手一覧表を事務局に提出する。
- ウ. 会場への時間差の入場
 - ※退場時は, 主催者による指示で退場
- エ. 生徒の待機場所は, メインアリーナの観客席をチーム毎に区分けして利用する。(主催者から事前に各校へ連絡) その際, 前後左右で隣り合うことのないよう, 席を1つずつあけて座らせる。(各チームで対応)
- オ. 試合間は, チーム入れ替わりのための十分な時間をとり, 手指消毒なども十分に行う。
- カ. 試合前などの円陣は行わない。また, ベンチの周りに集合する際は密集・接触を避ける。
- キ. 競技中を含め, ハイタッチは腕のタッチにとどめる。
- ク. ネット際などで, 相手に向けた状態での発声は控える。
- ケ. タオル, ボトル, アイシングバッグなどは共用しない。
- コ. プロトコールに関わるサブ・コートなどは事前に決定し, 記録席に生徒を集めない。
 - ※後日, 審判部より連絡。
- サ. 試合前後の挨拶は, エンドライン上で行う。
- シ. ボールはセット中に定期的に交換し, 記録席において記録の生徒がタオルで拭く。
- ス. セット間及びゲーム終了後, ベンチを消毒する。
- セ. 競技終了後, 生徒が使用した観客席をチームごとに指導者と一緒に消毒する。

②審判に関して

- ア. 笛は共用しない。
- イ. 線審・点示・記録を行う生徒は, マスクを着用する。使用した用具は試合後, 記録席で消毒する。

③保護者に関して

ア. 1家庭2名まで入場を認める。

※事前に用紙を配布し、各チームで集約する。集約した名簿を主催者に提出する。主催者は提出された名簿をもとに保護者入場者一覧を作成する。

※事前に入場を申し込んだ保護者の変更は認められない（当日参加は不可）。

イ. 当日、会場入口で、保護者入場者一覧にチェックと体温の記入をお願いする。

※事前に各チームで周知し、一般の体育館利用者と出入り口を分ける。

ウ. 入場の際はマスクを着用する。

エ. 入場後は、ソーシャル（フィジカル）・ディスタンスを保ち会話を控える。

オ. 応援場所はメイン・サブアリーナともに観客席の決められた場所とし、大声での応援は禁止とする。

カ. 応援場所での飲み物は可、食べ物は不可とする。

キ. 外履きを持ち込むための袋を持参する。

ク. 試合のないチームの保護者へ、トイレと更衣室の消毒の手伝いをお願いする。

ケ. 競技終了後、保護者が使用した観客席をチームごとに保護者が消毒する。

④消毒に係る用具や消毒液などの準備に関して

ア. 消毒液を事前に準備する。

イ. 消毒の際に使用するペーパータオル、使い捨て用ゴム手袋を準備する。

ウ. 手指消毒用のスプレー・ボトルを準備する。

(2) 線審・点示・記録について

① 線審は的確にジャッジできる選手、記録はそれに精通した選手を出す。

② 男子の試合については、女子チームの指導者が線審、点示、記録を行う。

③ 1日目の女子予選ブロック戦については、Aブロックは同ブロックの試合のない2チームから線審4名、点示2名、記録2名を出す。B～Dブロックは同ブロックの試合のないチームから線審4名、点示2名、記録2名を出す。

④ 2日目の女子ブロック戦については、1位・2位ブロックの第1試合は同ブロックの試合のない2チームから線審4名、点示2名、記録2名を出す。3・4位ブロックの第1試合は、第2試合の2チームから線審4名、点示2名、記録2名を出す。以降、敗北したチームから8名出す。

⑤ 人数が8人に満たないチームについては、点示、記録の人数を減らして調整する。

⑥ マスクを着用する。

(3) 会場使用等について

① ビデオ撮影、携帯電話の充電のためなど、体育館内のコンセントの使用は禁止する。

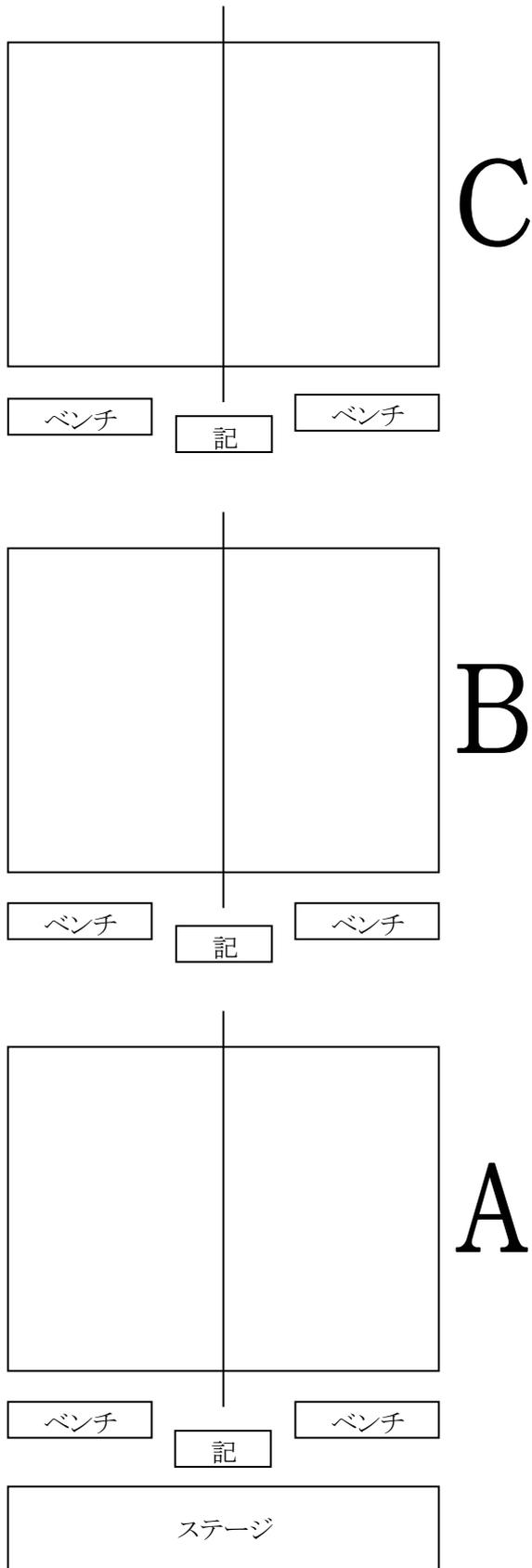
② 一般の観客（各チームの卒業生を含む）及び各学校の生徒（各チームの生徒の兄弟姉妹で事前登録をしている者を除く）の応援は禁止する。

(4) 選手名簿、構成メンバー表（コンポジションシート）について

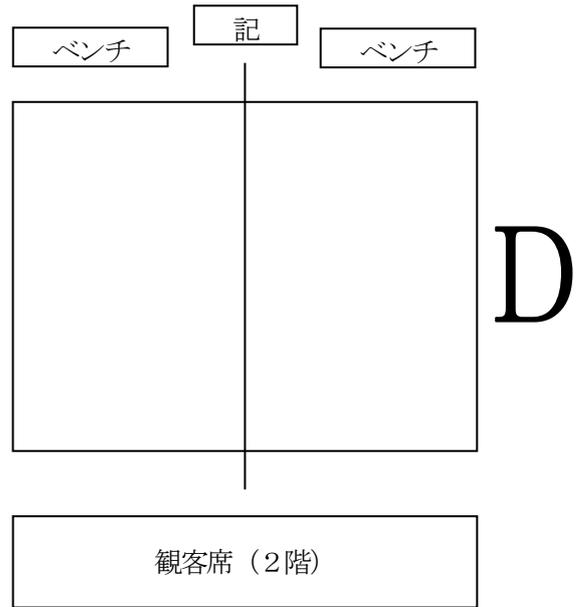
※後日、競技部より連絡。

(5) 会場図

①湿原の風アリーナ鉋路 (A・B・Cコート)



②湿原の風アリーナ鉋路 (Dコート)



資料1 『シード権獲得のためのポイント制について』

1. 目的

今年度の上位チームの夏季 釧路地区中学校バレーボール大会におけるシードを適切に行うことを目的とする。

2. シード校数

(1) 4チームとする。

3. シード権獲得ポイント制基準について ※教育長杯が中止になったことにより、今年度は以下のとおり変更する。

- (1) 下記のポイント制により、9ポイント5ポイント以上獲得しているチームがシード権を有するものとする。
- (2) 複数校合同チームが得たポイントは、チームを構成するそれぞれの学校がそのポイントを有するものとし、複数校合同チームを解散した場合もそのポイントは有効とする。
- (3) 獲得したポイントの合計が同じ場合は、抽選によりシード順を決定する。

大会名	1位	2位	3位
会長杯	4点	3点	2点
選手権大会	5点	4点	3点
教育長杯	6点	5点	4点

4. ポイントとシード校

(1) 大会結果

大会名	1位	2位	3位
会長杯	鳥取 (4点)	遠矢・富原 (3点)	幣舞・美原 (2点)
			景雲 (2点)
選手権大会	鳥取 (5点)	幣舞・美原 (4点)	景雲 (3点)
			遠矢・富原 (3点)
教育長杯	(6点)	(5点)	(4点)
			(4点)

(2) 各校ポイント

- ①鳥取 9点
- ②遠矢・富原 6点
- ③幣舞・美原 6点
- ④景雲 5点

(3) シード校

- ①第1シード：鳥取
- ②第2シード：遠矢・富原／幣舞・美原 (抽選)
- ③第3シード：遠矢・富原／幣舞・美原 (抽選)
- ④第4シード：景雲

(公財)日本中学校体育連盟バレーボール競技部における 「熱中症対策としての団扇使用」の取り扱いについて

(公財)日本中学校体育連盟バレーボール競技部

- 1 ベンチマナーの観点により、現在まで団扇の使用を禁止してきた経緯がある。しかし、現在熱中症対策が必要不可欠な課題である。そのため熱中症予防の観点から、(公財)日本中学校体育連盟バレーボール競技部が主催する大会で「熱中症対策としての団扇使用」を採用する場合、次のように取り扱うこととする。
 - ① 使用は、セット間・タイムアウト・給水タイムアウトのみとする。
 - ② 使用場所は、アップゾーンやベンチ周辺とする。
 - ③ 団扇の数には制限はないが、チームスタッフ及びリザーブ選手が保持することなく、ベンチもしくはアップゾーンで保管すること。
 - ④ 団扇の大きさには規定を設けないが、極端に大きなものは使用しない。
 - ⑤ 団扇にチームのロゴ等が記載されていても構わないが、装飾としての使用は認めない。※①～⑤は、チームスタッフ及びリザーブ選手にも適応する。

各ブロック・各都道府県大会等で、開催要項に「給水のためのタイムアウト」を採用している場合において「団扇使用」を認めることとする。

以 上